

① 制度の概要

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）が米国国立科学財団（NSF）との包括的協力覚書に基づき実施する**日米共同の脳情報通信研究**委託事業です。CRCNS（Collaborative Research in Computational Neuroscience）と呼ばれる国際共同研究フレームワークの下で、脳機能に関する革新的な科学・工学研究アプローチを支援します。

📄 支援内容

☐ Research Proposals（研究提案）

- 脳機能の革新的な科学・工学研究提案
- 計算論的神経科学に関する新規手法開発
- 脳情報通信分野での画期的技術創出

1,000万円～2,500万円/年

研究期間：36ヶ月

☐ Data Sharing Proposals（データ共有提案）

- 脳研究データの国際共有プラットフォーム構築
- オープンサイエンス推進に寄与するデータベース開発
- 研究コミュニティ全体の発展に資するデータ公開

1,000万円～2,500万円/年

研究期間：36ヶ月

👤 対象となる取組

【Research Proposals】

- 脳の計算原理解明に向けた理論・実験研究
- ブレイン・コンピュータ・インターフェース技術開発
- 神経ネットワーク動態解析の新技术創出
- 脳機能イメージング技術の革新的改良

【Data Sharing Proposals】

- 大規模脳データベースの構築・公開
- データ標準化・メタデータ整備プロジェクト
- 研究データの相互運用性向上システム開発
- オープンアクセス促進プラットフォーム構築

※スペインの研究機関は参加対象外となります。

👥 対象者

- 米国研究機関との連携が必須**で、日本の研究機関が代表提案者となること
- 大学、独立行政法人、民間企業等の研究機関
- フランス、イスラエル、ドイツの研究機関も参加可能
- 複数機関による共同提案も受付

※研究経験と体制、経営基盤の安定性が求められます。

📊 戦略的分析

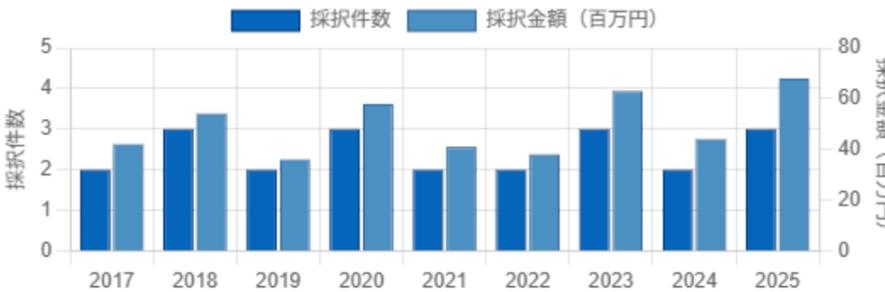
【採択のポイント】

- 国際共同体制の充実度**が最重要で、米国機関との密接な連携計画が必須
- 研究提案の**革新性と実現可能性**のバランスが評価の鍵
- 脳科学分野での**国際的インパクト**創出への貢献度が重視
- NSFとNICT双方の評価基準を満たす**統合的な提案**が求められる

【段階的なステップアップ戦略】

- 事前の国際連携構築**で米国研究者との協力関係を確立
- 過去の**CRCNS採択事例**を詳細分析し、成功パターンを把握
- データ共有型から研究提案型への**段階的チャレンジ**も有効
- 国内外の学会発表で**研究基盤を構築**してから応募

📈 CRCNS採択実績の推移



CRCNS採択実績（2017-2025年）：累計約20課題を採択、国際共同研究を推進
平均採択金額：約1,800万円/年（直接経費）

💡 研究分野と取組例

研究分野	代表的な取組例
計算論的神経科学	脳の情報処理メカニズムの数理モデル構築、神経回路の計算原理解明
ブレイン・マシン・インターフェース	脳信号解読技術の高度化、リアルタイム制御システムの開発
神経イメージング	fMRI・EEG解析技術の革新、脳機能ネットワーク可視化
機械学習・AI	脳型コンピューティング、神経情報処理アルゴリズム開発
データサイエンス	大規模脳データ解析基盤、オープンデータプラットフォーム構築

💡 採択率向上のポイント

- 米国研究者との事前調整**：NSF側の評価基準も理解し、双方向での綿密な提案調整が重要
- 英語提案書の完成度**：**ネイティブチェック必須**で、NSF基準の高品質な英語文書が求められる
- 研究計画の国際性**：単なる分担ではなく、真の協働による相乗効果の明示
- データ管理計画**：オープンサイエンス推進に配慮した詳細なデータ公開計画

📄 必要書類とチェックポイント

*このレポートは生成AIにて作成されています【2025/8/21作成】

提出書類	チェックポイント
研究開発提案書（日本語）	<input type="checkbox"/> 研究計画の詳細性 と実現可能性の両立 <input type="checkbox"/> 国際共同体制の 明確な役割分担 記載 <input type="checkbox"/> 予算計画の妥当性と 費用対効果 説明
NSF提案書（英語）	<input type="checkbox"/> NSF規定フォーマットでの完全準拠 <input type="checkbox"/> 英語表現の自然性とアカデミック品質
研究機関概要書	<input type="checkbox"/> 研究実施体制の充実度アピール <input type="checkbox"/> 過去実績による信頼性証明
研究者履歴書	<input type="checkbox"/> 国際共同研究の経験豊富さ <input type="checkbox"/> 脳科学分野での専門性証明

📅 申請スケジュール

- 事前準備期間**
米国研究者との調整に3～6ヶ月必要。NSF提案書作成も同期間要する。
公募説明会（9月16日）への参加推奨。
- 公募期間**
2025年8月19日（火）～11月14日（金）正午
NSF提案書とNICT提案書の**同時提出**が必須。
※ODA要請書は10月14日までに外務省必着。
- 審査期間**
12月～2026年3月頃（予定）
- 採択結果通知**
2026年4月頃
NSFとNICT双方からの通知
- 研究開始**
2026年9月頃～研究開始。
36ヶ月間の研究実施期間

⚠️ 補足事項

- NSFへの同時提案が必須で、英語提案書の提出が求められます。
- 採択件数は最大3件で、競争率の高い公募事業です。
- 2017年度から継続実施されており、実績豊富な制度です。

❓ 問い合わせ

制度詳細	https://www.nict.go.jp/collabo/commission/20250819kobo.html
NSF情報	NSF CRCNS Program
お問い合わせ	NICT イノベーション推進部門 委託研究推進室 公募担当 TEL: 042-327-6011